

○ 労働基準監督署による生産請負事業の現地視察会を実施

今年度の各種事業も5ヶ月を経過し、事業の最盛期を迎えていることから、労働災害の根絶を図るため、9月16日（水）、（有）下久保林業による生産請負事業を実行中の上指久保国有林3林班ほ小班内において、十和田労働基準監督署による現地視察会を実施しました。

十和田労働基準監督署からは、本間署長ほか担当官2名、当署からは署長ほか3名の職員が参加し、始めに当署長より「今年度、当署管内において請負事業体の災害が1件発生していることから、労働基準監督署のご指導をいただき、今後の安全活動に役立てていきたい。」と挨拶。労基署長からは「このような林業の生産現場を直接見る機会は大変貴重であり、今後も労働災害の根絶のため、行政間で連携をとりながら進めて参りたい」との挨拶がありました。

視察では、高性能林業機械のハーベスタによる、伐倒・枝払い・造材作業を視察し、ハーベスタの構造等について、オペレーターの説明を熱心に聞いていました。

最後に、労基署長から「林業においても機械化が進んでいるが、労働災害の根絶のためには、伐倒手とオペレーターとの連携が重要である。今後とも連携を図りながら安全活動に取り組んでいただきたい。」との講評をいただき日程を終了しました。



本日の作業内容の説明



作業の視察状況



ハーベスタの構造を説明



本間労働基準監督署長の講評